

陸前高田発

行方不明者の集中捜索



震災の発生から7年4カ月となったこの日、陸前高田市で警察による行方不明者の集中捜索が行われました。海

岸そばの土砂の仮置き場で、警察官が熊手やスコップを使いながら手がかりを探しました。県によりますと6月末現在、震災の県内の犠牲者は関連死を含めて5140人で、いまだ1115人の行方が分かっていません。(7/11 ニュースエコー)

釜石発

小中学生に歌の贈り物

被災地の小中学生に音楽の贈り物を届けようという「東北希望コンサート」が釜石の唐丹小中学校で開かれました。出演したのは映画「千と千尋の神隠し」の主題歌を歌う木村弓さん。子どもたちは、木村さんの透き通る美しい歌声に感動した様子で、お礼にハンドベルの演奏を披露していました。(7/13 ニュースエコー)



大船渡発

「さんま焼き師」に挑戦!



本州一のサンマの水揚げを誇る大船渡市で「さんま焼き師」の認定試験が行われました。4回目の今年は、県内外の102人が「焼き師」に挑戦。サンマを焼いて40年のベテラン焼き師から、塩の振り方など手ほどきを受け、きれいな焼き色がつくまで、丁寧にサンマを焼いていました。筆記試験を経て合格者に認定証が発行されます。(7/14 ニュース)

大船渡発

全国ちんどん祭り

全国各地のチンドン屋が集合する「ちんどん祭り」が大船渡で行われました。大船渡のアマチュアのチンドン団体が、被災地を勇気づけたいと始めたこの催し。



6回目の今年は北海道から九州までプロとアマの13が出演し、かねや太鼓を打ち鳴らす姿に、会場には笑顔が広がっていました。(7/15 ニュース)

宮古発

浄土ヶ浜に歓声



海の日この日、真夏日となった宮古の浄土ヶ浜は大勢の海水浴客でにぎわいました。南から暖かい空気が入り続けたため県内は気温が上がり、宮古の最高気温は30.7度に。子どもたちは歓声をあげて海水浴を楽しんでいました。(7/16 ニュースエコー)

盛岡発

防災研究を世界に発信



防災や危機管理の専門家による国際会議が盛岡で始まりました。防災などの研究成果を、震災復興に取り組む岩手から世界に発信しようと岩手大学などが開きました。初日の議題は「震災からの教訓」で、岩手大学の岩渕学長が地域防災研究センターを設けて、防災を教育プログラムに組み込んだ活動を紹介しました。(7/17 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中

詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>

IBC復興支援室事務局 019-623-3122